

# 学校評価

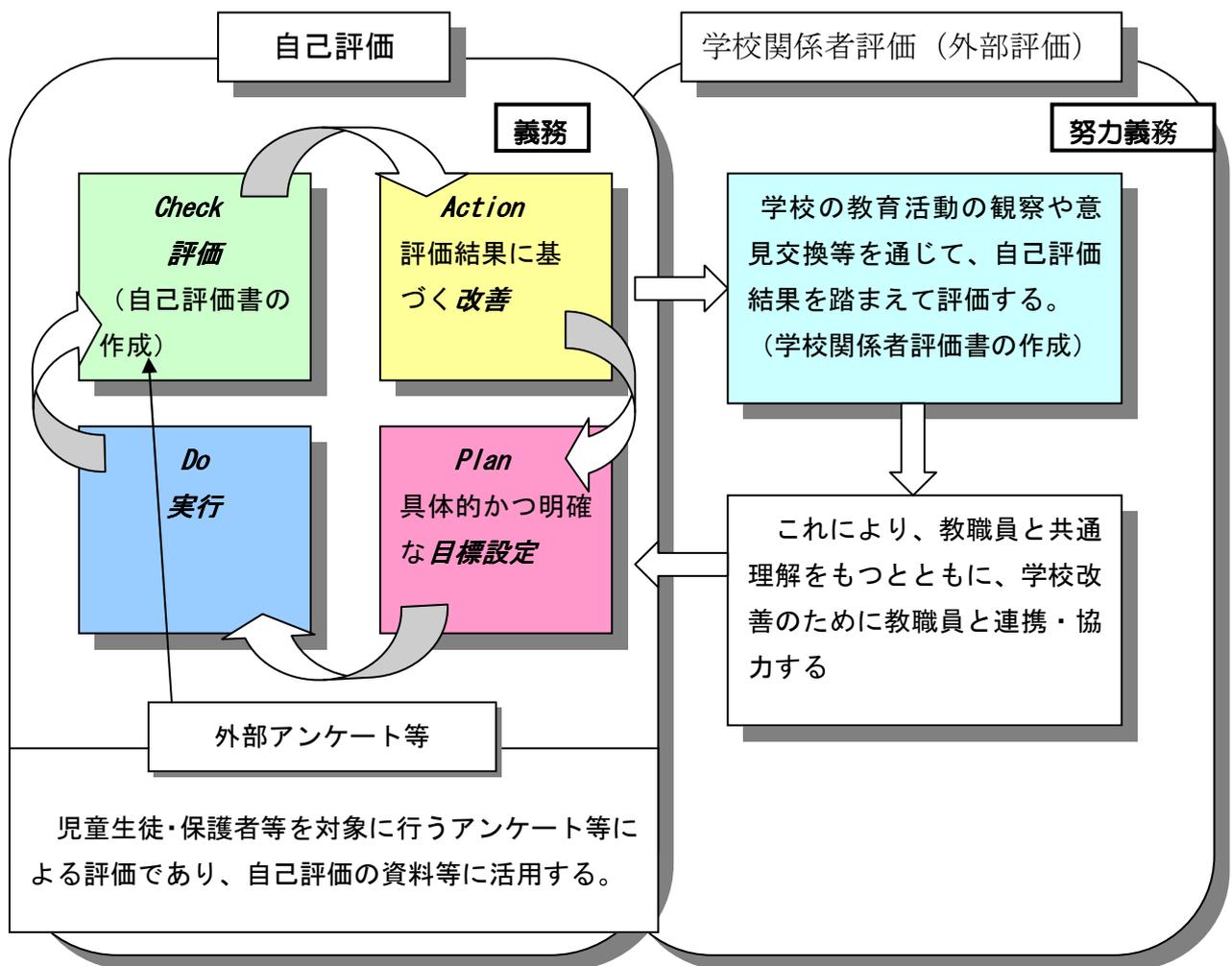
## 学校評価の目的

① 学校運営の組織的・継続的な改善

② 保護者・地域住民等との連携協力による学校づくり

③ 教育水準の保障・向上

## 学校評価の実施手法



## 自己評価

### ●○○自己評価のポイント●○○

#### 学校の実情に応じた創意工夫

学校の長所と課題を踏まえた取組

#### 評価項目の精選

意識的に取り組める程度に絞り込む

#### コミュニケーションツールとしての活用

学校として組織的に取り組む

保護者・地域と思いを共有し、巻き込む

### ●○○全方位的な点検と学校評価●○○

#### 学校評価の基本

- ・重点目標に基づき、精選された項目に従って評価する

#### 以下のような場合は全方位的な点検が有効

- ・はじめて「重点目標」を設定しようとするとき
- ・「重点目標」に基づく取組の開始後、数年を経過したとき

### ●○○評価結果の設置者への報告と公表●○○

#### 設置者への報告

情報を設置者と共有するためのツールです

#### 盛り込むべき事項

重点目標の達成状況、取組の適切さに関する評価結果とその分析  
それらを踏まえた改善策

#### 公表方法の例

学校便りへの掲載、PTA総会等における説明  
学校HPへの掲載、地域住民が閲覧可能な場所への掲出

### ●○○「外部アンケート等」について●○○

#### 「外部アンケート等」を実施する意義

自己評価の実施にあたり、児童生徒、保護者、地域住民の具体的な意見や要望を把握することが重要

#### 留意点

- 集計・分析等に要する事務負担が大きいので、重点目標等との関連を図りつつ、適切に項目を設定する
- 実施にあたっては匿名性の担保に配慮する

# 学校関係者評価

## ◆◆◆学校関係者評価のポイント◆◆◆

### 「学校関係者評価」とは

- 保護者 ● 学校評議員 ● 地域住民
- 地元企業関係者 ● 青少年育成団体・警察関係者
- 接続する他段階の学校の教職員
- 大学等の関係者

これらの者を評価者とする  
学校評価者評価委員会を組織する

## ◆◆◆学校関係者評価のポイント◆◆◆

### 自己評価の結果を踏まえた評価が必要

- 自己評価結果を学校関係者の視点から確認する  
自己評価の客観性・透明性を高める
- 評価を通じて学校の現状と課題について共通理解を深める  
家庭・地域との連携や学校運営の改善への協力を促進
- 評価者には専門性の制約や時間的な制約がある  
学校運営の状況について掘るべきものもなく  
一から観察し評価することは困難

## ◆◆◆学校評価のポイント◆◆◆

### 主体的・能動的な評価活動が必要

- 評価の実施に先立ち、以下のような活動を行ったうえで、学校の自己評価結果や今後の改善方策等について意見を述べることを期待される。

- 授業参観 ● 学校行事の参観
- 教職員との意見交換
- 児童生徒からのヒヤリング
- 部活動や登下校等の見学 ● 施設・設備の見学

外部アンケート等の実施で学校関係者評価に変えることは不適當

## ◆◆◆学校評価のポイント◆◆◆

### コミュニケーションツールとしての活用

学校関係者評価を通じて教職員や保護者、地域住民等が学校運営について意見交換

学校の現状や取組を知り課題意識を共有

学校と家庭・地域の相互理解の深化

参考・引用資料：

「平成 20 年度学校評価指導者養成研修」  
文部科学省初等中等教育局教育水準向上 P T 学校評価  
室室長 西田憲史